

七条中学校だより10月10号

京都市立七条中学校

令和8年10月15日

発行:校長 林 秀雄

明日はいよいよ合唱の部

明日は、いよいよ七中祭・合唱の部です。今の皆さんの気持ちはどうでしょうか。「楽しみで仕方がない」という人もいるでしょう。「緊張している」という人もいるでしょう。「本当にうまく歌えるだろうか」と不安な人もいるかもしれません。また、クラスの雰囲気もそれぞれだと思います。これまでの取組は、クラスごとに本当に個性がありました。早い時期からまとまりを見せたクラスもあれば、なかなか思うように練習が進まなかったクラスもありました。しかし、リハーサル前後から、どのクラスも合唱に向き合う姿勢が大きく変わってきたように感じています。

今日の最後の練習はどうでしたか。私は担任をしていた頃、毎年この時期になると思うことがありました。不思議なことに、最後の練習では、みんなが本当に大きな力を発揮するのです。歌声が今までで一番そろそろ。表情が変わる。指揮者や伴奏者を見つめる目が変わる。そして何より、クラスの空気が変わる。「ああ、このクラスはここまで来たんだな」そんなことを感じる瞬間があります。すると私は毎年、同じことを思っていました。「明日の本番が来なければいいのに。」少し変な話かもしれませんが。

もちろん、合唱コンクールですから賞があります。金賞を目指して努力し、他のクラスと競い合うことにも大きな意味があります。その競い合いがあるからこそ、お互いを高め合い、よりよい合唱をつくり上げることができます。しかし担任として一番うれしかったのは、順位ではありません。仲間と何度も練習し、時には意見がぶつかり合いながらも、一つの目標に向かって歩んできたこと。そして、クラス全体が最高潮の状態になり、一つにまとまった姿を見ることでした。だからこそ、本番になれば順位がついてしまう。金賞を取るクラスもあれば、そうでないクラスもある。そのことを思うと、うれしさと同時に少し複雑な気持ちにもなったのです。

これまで私は皆さんに、「結果よりも過程が大切」という話を何度もしてきました。それは決してきれいごとではありません。皆さんがこれまで積み重ねてきた練習の日々。仲間と声を掛け合った時間。思うように歌えず悩んだこと。意見の違いを乗り越えてきたこと。そのすべてが皆さんの財産です。そして、その過程があったからこそ、今の合唱があります。

明日の本番を迎える前に、ぜひ皆さんにしてほしいことがあります。それは、ここまで共に頑張ってきた仲間の努力を認め、称え合うことです。毎日ピアノに向かい続け、クラスの歌声を支えてきた伴奏者。みんなの前に立ち、責任と緊張を抱えながら練習を引っ張ってきた指揮者。パートをまとめ、時には声をかけ、時には悩みながら仲間を支えてきたパートリーダー。そして、一人ひとりが自分の役割を果たしながら、クラスの合唱を創り上げてきた全ての仲間たち。誰一人欠けても、今の合唱はありません。皆さんがここまでたどり着くことができたのは、一人の力ではなく、仲間の支えや努力があったからです。明日の本番の前でも後でもかまいません「ありがとう。」「よく頑張ったな。」そんな一言を、ぜひ仲間に伝えてください。互いの努力を認め合い、称え合えるクラスは強い。そして、そのことこそが合唱コンクールで得られる最も大切な財産の一つだと私は思っています。

そして、もう一つ皆さんに意識してほしいことがあります。それは、合唱の本番は「一発勝負」だということです。普段の練習では、一曲を何度も歌います。すると、一回目より二回目、二回目より三回目の方が声が出たり、気持ちが乗ってきたりして、だんだん調子が上がっていくことがよくあります。しかし、本番は違います。本番は一回だけです。「次はこうしよう」「もう一度歌わせてください」はありません。その一回に、これまで積み重ねてきた全てを込めなければなりません。だからこそ、歌い出しを大切にしてほしいと思います。合唱は、歌い出しで大きく印象が変わります。最初は声が小さくても、途中から調子が出てきて、中盤あたりから素晴らしい合唱になることはよくあります。しかし、本番では「途中からよくなった」ではもったいないのです。皆さんがこれまで積み重ねてきた努力や思いは、最初の一音から表現できるはずです。

指揮者がタクトを振り下ろした瞬間、伴奏者が最初の音を奏でた瞬間から、自分たちの合唱を始めてください。最初の一音に自信を込める。最初の一音に仲間への信頼を込める。最初の一音にクラスの思いを込める。そんな気持ちで、歌い出しから練習の成果を発揮してほしいと思います。

明日はぜひ、自信をもって歌ってください。自分を信じてください。そして何より、共にここまで歩んできた仲間を信じてください。結果は後からついてきます。大切なのは、今のクラスだからこそ歌える合唱を精一杯届けることです。合唱に絶対の正解はありません。同じ曲を歌っても、クラスが違えば表現は違います。 裏へ

そこに込められる思いも、ここまで歩んできた過程も違います。皆さんのクラスが、この仲間たちとともに悩み、考え、努力しながらたどり着いた姿こそが、そのクラスの最適解です。

金賞を取ることが最適解なのではありません。失敗しないことが最適解なのでもありません。今のクラスだからこそ表現できる歌声、今の仲間だからこそ創り上げることでできた合唱。その姿をステージで精一杯表現することが、皆さんの最適解ではないでしょうか。

明日は、今のクラスで取り組んできた合唱の最適解を発表してください。皆さんがこの仲間と、このクラスで歌えるのは明日が最後です。一人ひとりの思いを声にのせ、クラスの心を一つにして歌ってください。私は皆さんがつくり上げてきた合唱を、心から楽しみにしています。明日は最高の一日にしましょう。

保護者の皆様へ

日頃より本校教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、明日はいよいよ七中祭「合唱の部」を開催いたします。生徒たちは、この日のためにクラスごとに練習を重ね、試行錯誤を繰り返しながら、一つの合唱を創り上げてきました。

保護者の皆様には、ぜひ歌声の美しさや技術だけでなく、そこに至るまでの生徒たちの努力や成長にも目を向けていただければ幸いです。仲間の声に耳を傾ける姿。自分の役割を果たそうとする姿。より良い合唱を目指して支え合う姿。そして、クラス全員で一つの音楽を創り上げようとする姿。

また、伴奏者や指揮者、パートリーダーを中心に、それぞれが責任を果たしながらクラスを支えてきました。そして、その支えに応えようとする仲間たちの姿があります。合唱は決して一人では完成しません。一人ひとりの努力や思いが重なり合って、初めて一つの音楽になります。

明日はコンクール形式で実施するため、結果として賞が決まります。しかし、本校が大切にしているのは結果だけではありません。仲間とともに悩み、励まし合い、一つの目標に向かって歩んできた過程そのものが、生徒たちを大きく成長させてくれたものと考えています。

今のクラス、この仲間だからこそ奏でることのできる歌声があります。どうぞ、生徒たちが心を一つにして創り上げた「今、この瞬間にしか聴くことのできない合唱」をお聴きください。

教職員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

現在 学校だより 通算97号